

マーケットの動き（2024年11月25日～11月29日）

先週の国内債券市場は、前週末比で金利は低下しました（債券価格は上昇）。週初は、22日にトランプ次期大統領が次期財務長官に投資ファンド経営者のスコット・ベッセント氏を指名したことを受け、次期政権でのインフレや財政悪化などへの警戒感が薄らぎ、米国長期金利が低下したことから、国内長期金利も低下しましたが、29日発表の11月の生鮮食品を除く東京都区部CPI（消費者物価指数）が市場予想を上回ると日銀による12月の追加利上げ観測が強まり、低下幅を縮めて週を終えました。クレジット市場は、堅調に推移しました。

投資環境見通し（2024年11月）

国内長期金利は徐々にレンジを切り上げる動き

日銀総裁は10月末に開催された金融政策決定会合後の会見で、「経済・物価見通しが見通しに沿って実現していくとすれば、政策金利を引き上げていく」とともに、これまで繰り返してきた「時間的余裕はある」との表現を使わないと述べました。さらに、米国経済は少しずつ霧が晴れつつあるとの認識を示し、国内政治情勢についても政策的に大きな動きが出されれば物価に影響する可能性を指摘しました。国内長期金利は早期の追加利上げがあらためて意識される中、徐々にレンジを切り上げるとみています。

	11月29日	変動幅（騰落率）			
		前週比	1カ月前比	6カ月前比	1年前比
10年国債利回り（日本、%） （変動幅）	1.06	▲0.03	0.09	▲0.01	0.37
NOMURA-BPI総合 （騰落率）	357.99	0.23%	▲0.49%	0.38%	▲2.50%

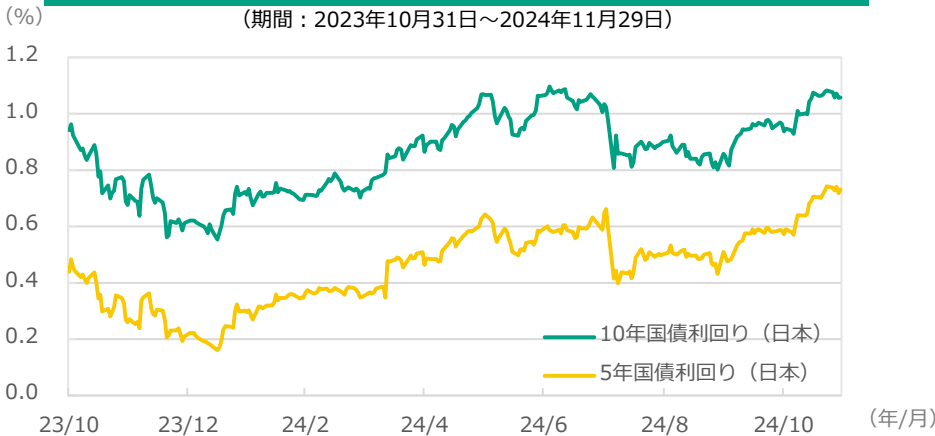
※期間別騰落率の各計算期間は、基準日から過去に遡った期間の応答日(休日の場合は前営業日)までとします。

※最新の「投資環境見通し」もご覧ください。

https://www.myam.co.jp/market/outlook/upload_pdf/202411_outlook.pdf

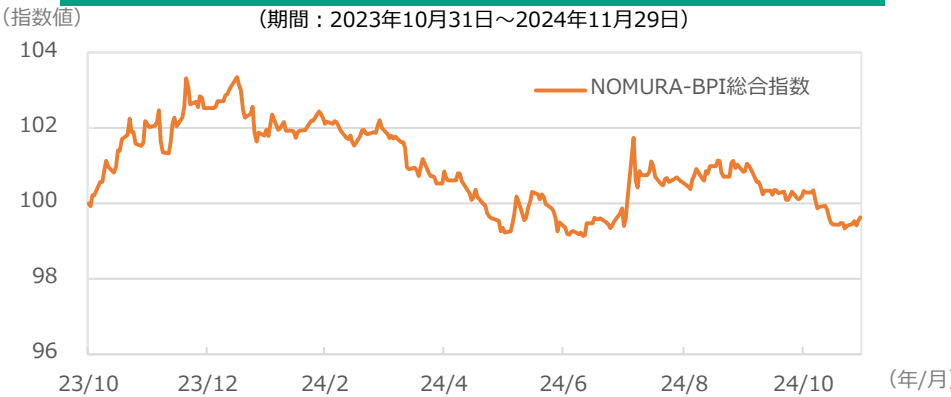
日本国債利回りの推移

（期間：2023年10月31日～2024年11月29日）



NOMURA-BPI総合指数の推移

（期間：2023年10月31日～2024年11月29日）



※2023年10月31日の値を100として指数化

※出所：FactSetのデータを基に明治安田アセットマネジメント作成

●当資料は、明治安田アセットマネジメント株式会社がお客さまの投資判断の参考となる情報提供を目的として作成したものであり、投資勧誘を目的とするものではありません。また、法令にもとづく開示書類（目論見書）ではありません。当資料は当社の個々のファンドの運用に影響を与えるものではありません。●当資料は、信頼できると判断した情報等にもとづき作成していますが、内容の正確性、完全性を保証するものではありません。●当資料の内容は作成日における当社の見解に基づいており、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。また予告なしに変更することもあります。●投資に関する最終的な決定は、お客さま自身の判断でなさるようお願いいたします。●当資料にインデックス・統計資料等が記載される場合、それらに関する著作権等の一切の権利は、それらを作成・公表している各主体に帰属します。●使用インデックスについては、マーケット見通し（総合）の最終ページをご確認ください。<https://www.myam.co.jp/market/report>